事業別環境影響フロー【港湾・漁港・海岸】

事業の段階	事業において想定される配慮	環境への影響	環境配慮の内容 （要綱の環境配慮事例）	要綱の個別配慮事項番号
計画に係る環境配慮	場所選定における配慮	環境負荷の増加 自然環境の改変	□複数場所の検討 □希少動植物の生息地の回避 □貴重な自然環境地域を回避 □希少動物の営巣時期に配慮した工事計画 □埋立面積の最小化の検討 □藻場，干潟，自然海岸，磯場の埋立て抑制の検討 □海域環境が良好な浅海域の埋立て抑制	大①，大②，自①，自②，自③
		文化遺産の消失	□指定文化財や埋蔵文化財包蔵地等の回避	景②
	埋立形状・護岸構造	水質汚濁等 自然環境の改変	□緩傾斜護岸，透水性護岸，多孔質護岸の採用 □停滞性水域の発生を避けた埋立形状の検討 □周辺海域の潮流の著しい変化を避けた埋立形状	大②，大③，自⑤
		生活空間の悪化	□親水性護岸，景観保全護岸の設置	快②
工事中に係る環境配慮	工法等に係る配慮	環境負荷の増加	□一時期に負荷が集中しない工事計画策定	大⑧
	工事全般	自然環境の改変	□配慮が必要な魚類等の繁殖・産卵期の配慮 □貴重な動植物の移動・移植 □代替藻場・代替干潟の造成 □魚巣ブロックの設置	自①，自②
	浚渫・床掘等	水質汚濁（濁りの発生）	□汚水・濁水の発生を抑えた工法の検討 □海域での潮待ち工事 □汚濁防止枠の使用，汚濁防止膜の展張 □海水浴時期における工事の中止・抑制	大④
	埋立材	水質汚染 土砂採取場所の改変	□埋立材の発生場所の把握及び性状分析の実施 □大規模な山土採取では環境影響評価を実施 □採取跡地の環境回復の実施	大⑤，大⑥
	廃棄物の発生	廃棄物の増加	□廃棄物の発生を抑制した事業計画の策定 □廃棄物の再資源化，適正処理等 □伐採木等の林地還元 □県内リサイクル製品の積極的な使用 □再生骨材等の利用促進 □建設発生土の発生抑制，適正処理等	廃①，廃②，廃③，省②
	建設資材	資源・ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量増加		
	型枠材の使用	樹木伐採（地球環境）	□型枠の反復使用，再利用 □金属型枠の使用 □間伐材の有効利用	地②
	建設機械等の稼働等	騒音・振動等	□騒音・振動防止に配慮した工法の実施 □低公害型の建設機械等の採用 □防音壁，防音シート等の仮設 □工事車両の走行ルートの分散化	大⑦
		大気汚染 地球温暖化	□アイドリングストップ，急発進の抑制等 □経済運行速度の遵守	地③
供用に係る環境配慮	周辺環境への配慮	自然環境の破壊	□在来種の復元 □鳥類の食餌木による緑化 □巣箱・巣台の設置	自④，自⑤
		周辺景観の破壊	□海岸緑地の整備や余裕地の緑化 □水辺の散策路や親水公園の整備 □地域性のある素材や天然素材の活用 □在来樹木による植栽 □既存植生の保全・活用，花きや実のなる樹木による四季感の創出	快①，快②，快⑤，快⑥
		生活空間の悪化 歴史的景観の破壊	□構造・形態・色彩等は風土・歴史等に配慮	快③，快④，景①
		光害 （生息環境悪化）	□ダウンライトの採用 □夜間照明に対する配慮 □ナトリウム灯などの採用	自⑥
		資源・ｴﾈﾙｷﾞｰ消費量増加	□太陽光発電，省エネ型照明の設置等	省①
		地球温暖化	□余裕地の緑化	地①

（略号）
大：大気環境，水環境の保全
廃：廃棄物の発生抑制，リサイクルの推進
地：地球温暖化の防止
省：省資源，省ｴﾈﾙｷﾞｰの推進
自：自然環境の保全
快：快適な生活空間の創造
景：歴史的景観の保全，文化遺産の保護